

サステナビリティ・トランスフォーメーション 推進体制の強化について

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 菅野 暁、以下「AM-One」）は、2021年1月にコーポレート・メッセージ「投資の力で未来をはぐくむ」を制定して以降、サステナビリティ推進体制の強化、ESG投資の更なる高度化、コーポレート・メッセージを体現する商品・サービスの拡充等、「投資の力で未来をはぐくむ」資産運用会社としてサステナビリティ・トランスフォーメーション（SX）を加速させております。

今般、SX推進体制の強化に向け、ESG投資・サステナビリティ分野の専門家を2名採用しましたので、お知らせいたします。

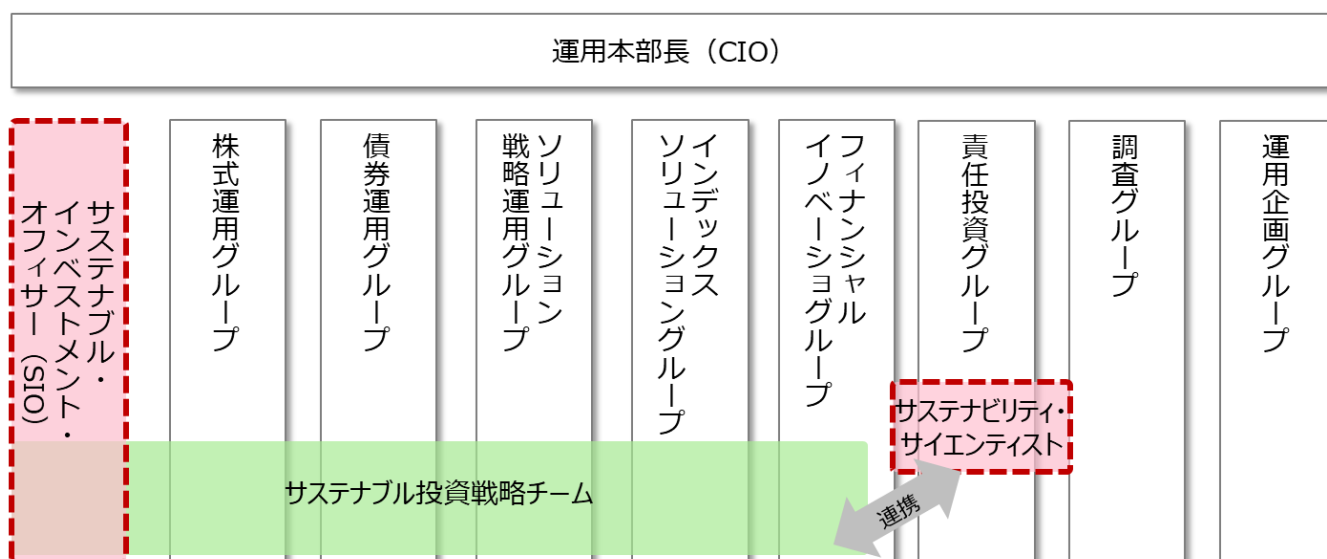
<AM-OneのSXロードマップ>



まず、4月からサステナブル・インベストメント・オフィサー（SIO）として、鷹羽美奈子がAM-Oneに加わりました。鷹羽は、長年のESGリサーチやESG格付け業務の経験を活かし、アセットクラス横断のサステナブル投資戦略チームを率いて全てのアセットクラスにおけるSXの推進を主導する他、新たなサステナビリティプロダクトの開発等を牽引いたします。

また、6月からシニア・サステナビリティ・サイエンティストとして田中加奈子がAM-Oneに加わりました。田中は、国内外の各種研究機関において気候変動分野の最先端の研究に長年従事した気候変動分野のプロフェッショナルであり、国際的なイニシアティブ等への参画を通じてグローバルな最新動向・知見を収集し、気候変動分野を中心にSXの推進に貢献するとともに、業界のオピニオンリーダーとして積極的に情報を発信する役割を担います。

<インハウス運用におけるAM-OneのSX推進体制>



AM-One は、お客さまをはじめとするすべてのステークホルダーのサステナビリティの実現に向けて、「投資の力で未来をはぐくむ」資産運用会社として、インハウスプロダクト、アウトソースプロダクトともに、今後も体制強化・取組高度化を推進するとともに運用力、商品開発・サービス提供力を更に高めていきます。

<サステナブル・インベストメント・オフィサー (SIO) : 鷹羽美奈子>



【略歴】
 2022年4月より、サステナブル・インベストメント・オフィサーとしてAM-Oneにおける全アセットクラスのESGインテグレーションを統括する。同社入社以前は、約1年間、野村アセットマネジメントにて、株式運用チームのESGインテグレーションを担当した。2007年より約13年間、MSCIにてESGアナリストとしてESG格付け業務に従事し、同社の日本株ESGリサーチチームを率いた。MSCI在籍時には、MSCIジャパンESGリーダーズ指数、MSCI日本株女性活躍指数(WIN)の銘柄リサーチ管理者として指数開発・メンテナンスに関わった。2020年より、Women in ETFs日本チャプターの共同ヘッドとして、日本の金融業界のダイバーシティ向上に力を注ぐ。

【コメント】

私自身がESG投資業界に入ってから15年が経ち、その間に投資家は社会の一員として重要な役割を果たしてきました。日本企業のガバナンス改革やESG情報開示の促進、気候変動対策の推進など投資家の働きかけが前進の一つの要因であったと思います。その中において、アセットマネジメントOneは「投資の力で未来をはぐくむ」を実現するために、運用会社の立場から何ができるのかを真剣に考えていると感じました。持続可能な社会を実現するためには、この先も私たちが取り組まなければならない課題はたくさん出てくると思いますが、サステナブル投資商品やESGインテグレーションを通じて、社会とともに歩むことができる運用会社を目指したいと思います。

<シニア・サステナビリティ・サイエンティスト：田中加奈子>



【略歴】

英国ティンダル気候変動研究センター脱炭素社会フラグシッププロジェクトシニアフェロー、国際エネルギー機関(IEA)省エネ政策アナリスト、科学技術振興機構低炭素社会戦略センター主任研究員、産業技術総合研究所ゼロエミッション研究戦略部総括企画主幹など経て現職。1999年から気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告書作成に関わり、第3次報告書から第6次報告書まで代表執筆者、査読編集者などを担当し深くかかわる。専門は気候変動緩和策や省エネ・エネルギー効率性向上に関わる技術・システム・政策の設計と評価。内閣府や経産省、環境省審議会委員、日経脱炭素委員会委員など歴任。山田興一氏との共著に『電力危機』がある。

【コメント】

これまで研究者の立場から長く気候変動問題への対策に取り組み、人類と地球の持続可能な発展のために何ができるか、様々な機関で様々な角度から検討し様々な提案をしてまいりました。技術のイノベーション、開発、普及は重要な課題解決の鍵であり成長の機会でもあります。そのためのESG投資をいかに促進するかを考えたとき、資産運用会社の社会における役割に大きな可能性を感じました。「投資の力で未来をはぐくむ」、まさにこれが今の自分の思いとマッチしました。そして、自分のこれまでの経歴を活かし成長することができる会社だと思い、AM-Oneに入社を決めました。One for All, All for One — 個々の企業がサステナブルであることで社会もサステナブルであり、社会が発展していけば企業も発展する…と考えています。AM-One for One & All —。責任投資という立場で企業様との対話を通じてサステナビリティを社会全体で目指し、将来の明るく豊かなカーボンニュートラル社会構築のための仕組みを皆様と創造していきたいと思っております。

【アセットマネジメントOneについて】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約60兆円と国内有数の規模を誇ります。統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

HP：<http://www.am-one.co.jp/> ※運用資産残高は2022年3月末時点。

商号等／アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会